

横山幸次

区政報告
ニュース

771

2020年8月 2日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

避難所等のコロナ感染対応方針を策定 災害時の避難所確保、情報伝達などに課題

コロナ禍の 災害対策



避難所の
間仕切りと
段ボールベッド

7月28日、区は「避難所等における新型コロナウイルス等感染症対応方針」について議会に報告がありました。

避難所での間隔確保や 飛沫防止など...

大地震や大規模水害の際、避難所の確保とともに感染拡大防止として避難者の間隔が求められます。しかし国の基準（一区画9㎡・1～2m間隔）では、想定避難者の収容は、不可能です。そのため方針では、避難所の増設に加えて在宅避難や親戚・知人宅等、分散避難を呼びかけています。しかし住宅避難には、在宅耐震・不燃化が必須条件ですが、まだまだ遅れていません。親戚も知人もいない、ないし近くにいない高齢者はじめと

する区民も少なくありません。こうしたところへのハード、ソフト両面の支援強化が必要です。また避難所については、学校の場合、体育館のスペース確保と間仕切りなども必要です。また、罹患者、疑症状者用の部屋などの具体化が必要です。また、サンパールやサニーホール、文化センターなども公共施設も避難所として開設するとしています。福祉避難所増設や改善も必要です。

一刻も早く防災ラジオを
情報伝達も大きな課題です。聞こえにくい行政防災無線を補うための防災ラジオ（VHF波）は、今年2月に事業者が撤退し頓挫。いま防災行政無線を聞けるのは、ケーブルテレビの「あらかわチャンネル」だけです（43%の世帯が加入）。全国では、ポケベル波を使った防災ラジオが使われています。災害の切迫度からも実現が急がれます。

コロナ 対策 4月27日以降に生まれた新生児にも 区独自の10万円給付が実現しました

7月29日、区の新型コロナ対策本部は、国の定額給付金の基準日4月27日以降に生まれた新生児にも一人あたり10万円を支給することを決めました。

4月27日時点で荒川区に住民登録があり、出生日の時点まで引き続き住民登録を有している世帯

来年4月1日生まれまで（詳しくは区のホームページで）

日本共産党区議団は、6月区議会の質問（斉藤くに子区議）で、「4月27日以降の新生児にも独自に10万円の給付金を支給すること」ことを求めました。区は、子育て世帯の大変さを認識しつつオカカードの支給など行っており「国の特別定額給付金の対象範囲を広げ、独自の支給を行う事は考えていない」と答弁していました。しかし、この一ヶ月余で方針が転換されました。それは、子育て世帯の切実な声が、区政に届いた結果だと思えます。

引き続き、区民に寄り添った暮らし、営業の支援策拡充のために力を尽くします。



まちの話題あれこれ
あらかわ遊園のリニューアルオープンが延期に「ちよと残念コロナだけでなく巨大な地中構造物が発見されたようです」リニューアル工事中のあらかわ遊園には、ちよと前まで「2021年夏頃オープン予定」とあったのですが今は「2022年春オープン」に変わっています。先日区議会に変更した理由が報告されました。そこでは、コロナ禍などとともに、観覧車の下に巨大なコンクリート塊が見つかりその除去に時間が多くかかったということから、旧観覧車を設置するときにわからなかったのでしょうか。いず



れにしても子どもたちが楽しみにしているあらかわ遊園のリニューアルです。新しくなったあらかわ遊園で遊ぶ子どもたちの笑顔を早く見たいものです。最後に、議論の中でリニューアル後の入園料の「値上げ」論が出ていることも付言しておきます。みなさんのご意見をお寄せください。（横山幸次）

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。裏面 荒川区の新型コロナウイルス感染状況など...

定例法律相談会

9月7日(月)

横山事務所18時～20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受付しています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

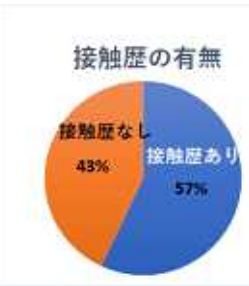
荒川区の コロナ感染

荒川区内のコロナ感染状況… 戦略的なPCR検査と情報開示が必要

荒川区内の年齢別など感染者数

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代
3人	2人	23人	34人	27人	20人	12人	17人	11人	7人	2人
1.9%	1.3%	14.5%	21.5%	17.1%	12.6%	7.6%	10.8%	7.0%	4.4%	1.3%

男	女	有症状	無症状	不明
79人	79人	113人	26人	19人
50.0%	50.0%	71.5%	16.5%	12.0%



都内の陽性率（公開している自治体分）

- 東京都 : 6.5% (7/21時点)
- 新宿区 : 32.2% (7/6~12)
- 中野区 : 14.9% (7/13~18)
- 世田谷区 : 13.7% (7/17~23)
- 千代田区 : 12.7% (7/13~19)
- 足立区 : 9.6% (7/15~21)
- 台東区 : 9.5% (7/13~19)
- 墨田区 : 9.4% (7/21時点)
- 中央区 : 9.2% (7/12~18)
- 北区 : 8.6% (7/11~17)
- 品川区 : 7.1% (7/1~17)
- 大田区 : 4.8% (7/13~19)
- 杉並区 : 4.5% (7/13~19)
- 八王子市 : 11.3% (7/13~19)
- 町田市 : 2.5% (7/14~20)

荒川区は、7月25日現在 6.8%
(6月11日時点 5.8%)

区内の介護施設、学校、幼保などで感染確認増加傾向に対する対策は待ったなしです…

7月28日、荒川区は、区内の新型コロナウイルス感染状況について議会に報告しました。

それによると、7月25日現在で荒川区内の感染者数は、158人、約1か月で70人以上増え、6月23日から見ると2倍に近づいています。（28日現在では、175人）

この間、介護施設や小学校、保育園・幼稚園でも関係者の感染が確認され、濃厚接触者だけでなく希望する全ての関係者（クラスなど）のPCR検査を

実施し、全員陰性となりホッとしたところです。

実数は千代田区に次いで少ないのですが、21日現在、1万人当たり6.49人で23区中15位となっています。

また陽性率は、累計で6.8%となっており、6月11日現在の5.8%から増加しています。

やはり区内でも感染拡大の徴候がはつきり現れています。

感染対策の土台である感染状態の情報開示で検査数や陽性数を知らせてこそ安心の第一歩

荒川区が、区内感染状況を明らかにしたのは、介護施設、学校、保育園を除くと6月11日と今回の2回だけ。すでに多くの区が、検査数、陽性率をホームページに掲載しています。

やはり、感染状態の情報開示が、検査を実施するときです。

同時に、医療、介護、福祉、学校、保育園、幼稚園など集団感染のリスクが高い施設の職員など関係者のPCR検査を公費で定期的に行い、繰り返しおこなえる体制づくりが急がれます。

「いつでも、どこでも、何度でも」検査を実施するときです。

区内感染状況(続報)

7月23日(木)、黒川学園・黒川幼稚舎の教諭1名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明。感染拡大を防止する観点から、当面8月4日(火)まで臨時休園。

感染者の経過 7月21日(火)最後の出勤日。22日(水)症状はないが親族の濃厚接触者としてPCR検査を実施、23日(木)陽性と判明。

対応 濃厚接触者へのPCR検査の実施(結果は、全員陰性)

今週のデータ コロナ感染が全国に急速拡大 「Go to トラベル」など強行が原因?

7月29日、コロナ新規感染者が全国1237人に達し、拡大し続けています。危機的とも言える状況です。

しかも過去と比べた特徴は、一都三県の比率が少なくなり、全国に広がっていることが明らかになっています。

しかもこの新規感染者については、Go to トラベルや4連休の状況は反映されていません。専門家の意見も無視して強行したGo to トラベル、経済優先が何をもちあわすか、安倍政権の責任がきびしく問われています。



区の新コロナウイルス対策…新規事業

「新型コロナウイルス感染対応荒川区職業相談窓口」を開設

8月3日(月)から、JOBコーナー町屋に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、休業や解雇等でお困りの方を対象に、職業相談窓口を開設します。

相談者の状況を把握して、日暮里専門ハローワーク等のキャリアカウンセラーによるマンツーマンの個別就職支援や、職業適性検査・応募書類作成・面接対策等の就職準備訓練を実施するなどの就労支援を行います。



保育園の登園自粛に伴う保育料日割り方式が8月末まで延長されます

感染が拡大している状況を受け、登園自粛を継続する場合の保育料については、登園日数に応じた日割り方式を8月末まで継続します。